



なごみをご支援くださっている皆様 (令和7年1月~12月)

《映画「生きて生きて生きろ」の英語版作成に対する寄付》

映画「生きて生きて生きろ」英語版を実現し隊 (上映会場等での募金)
米国日本人医師会
JAMSNET

《個人》のべ35名

《助成金》社会福祉法人福島県共同募金会

みなさまからいただいた寄付金や会費は、NPO 法人の運営資金として使わせていただいております。誠にありがとうございます！



通常総会と設立 15 周年記念イベント開催のお知らせ

この度、当法人の総会と設立 15 周年を記念してのイベントを同日開催いたします。

開催日 2026 年 6 月 14 日 (日)

★総会：当法人の南相馬事務所で開催予定

★記念イベント：南相馬ジャスマールで開催予定

詳細決まりましたら
お知らせします！

この機会に、15 年間の歩みを一緒に振り返り、お祭り・文化祭のような楽しい雰囲気、皆さまとの交流を中心とした時間を過ごしたいと考えています。ぜひご参加ください！

なごみ応援団 (NPO 法人の会員) を募集中です！

【新規会員のお申し込み方法】

以下の方法で会員申し込み後、郵便振込にて会費を振り込んでください。

①FAX または郵送での申し込み：会員種別 (正会員または賛助会員)・氏名・住所・所属先 (職業)・電話番号・メールアドレスを明記の上、下記住所に申込書を郵送または FAX してください。

②ホームページからの申し込み：<http://soso-cocoro.jp/>

なごみホームページの **★会員になる** ボタンをクリックして
申し込みフォームからお申し込みください。

または右の QR コードからもお申込みいただけます⇒



当法人は認定 NPO になりました。当法人への
会費及び寄附は、寄附金控除の対象になります。
詳しくはホームページをご覧ください。

会費・寄附の振り込み方法：郵便振込

- 1. 正会員 年会費 10,000 円
- 2. 賛助会員 年会費 一口 3,000 円
- 3. 寄附

【振込先】

口座番号：02260-0-126825

口座名義：特非 相双に新しい精神保健福祉をつくる会



なごみ応援団の方には、
定期的に会報や相双地域などの
情報をお送りいたします。
是非ご検討ください！

 【お問い合わせ】なごみ相馬事務所
 〒976-0016
 福島県相馬市沖ノ内 1 丁目 2-8
 電話 0244-26-9753
 F A X 0244-26-9739
 メール nagomi@soso-cocoro.jp



NPO 法人 相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

相双 COCORO ニュースなごみ

第 42 号 2026 年 2 月吉日 発行元：広報会員管理委員会
ホームページ <http://soso-cocoro.jp/>



ホームページ



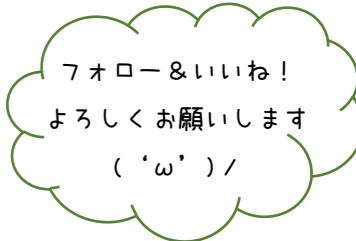
Facebook



Instagram



X



からころ・なごみ交流会を開催しました

昨年の 2 月に引き続き、宮城県石巻市で長く震災後の支援をしてきた「からころステーション」との交流会を浪江町の道の駅で開催しました。前回に引き続き、国立精神・神経医療研究センターやふくしま心のケアセンターのスタッフの方も参加され、より幅広い交流になりました。



浪江町の就労支援事業所コーヒータムの橋本さんのお話から始まり、震災直後のなごみの活動の映像を見て、最後にグループに分かれて、からころとなごみの各ケースを基に事例検討を行いました。

和やかな雰囲気の中で、からころ・なごみ双方の経験を踏まえた観点や意見を聴くことで、支援者としてそれぞれ個性もありながら根本の所で共通する気概と志を感じる機会にもなりました。(アウトリーチ 鈴木創)



自由の森学園スタディツアーの講師をお引き受けしました

昨年 11 月 25 日、南相馬市小高区の高葉屋旅館にて、埼玉県飯能市の自由の森学園の生徒が参加する被災地のスタディツアーの一環として、被災者支援の取り組みについて話しました。

「こころのケアは傾聴だけでは表現できないこと」「支援者に依存してしまう対象者に対し、自立を促すために、どのようにバランスを取っているのか」など、大人顔負けの熱い質問が 30 分以上も続きました。その日は、充実感とともに深い眠りにつくことができました。

(ケアセンター 米倉)



こころのケアセンターチームより

2020年に小高へ帰還された後から、支援対象者のIさんへの訪問支援を続けています。訪問の際には、体調の話題よりも小高の歴史や伝統について語り合う時間が多くあります。

Iさんは、相馬野馬追の映像を数十年前から記録し続けており、地域のつながりが薄れる中、ご自宅に残る戦前の日記の書き起こしや御神楽の継承にも取り組まれています。

こうした地域の伝統を取り戻す活動は、こころのケアにとっても大切だと考えています。今後も暮らしを支える支援を続けてまいります。

(大谷)



なごみ CLUB チームより

地域活動支援センターなごみCLUBでは、日中の居場所としてのサービスを行っています。月に一度、どんなことをして過ごしたいか、メンバーさんが話し合い活動内容を決めています。

12月は「クリスマスだからスノードーム作りたいね」「寒くなったから暖かい物を食べたいね。料理の日は何作ろうか」などと話し合いました。メンバーの皆さんと一緒に楽しく取り組めることを一つでも多く実行していきたいです。(阿部)



←活動で作ったカレーうどん



↑
活動で作った
スノードーム

なごみに新しい仲間が加わりました！

はたけやま よういち
◆ 畠山 陽一 ◆

初めまして。昨年8月に入職しました社会福祉士の畠山と申します。前職は貸付や生活保護につなげるなどの困窮世帯支援を行っており、「その場」の解決が主でしたが、なごみではこころのケアセンターの対象者の心や家庭環境、経済状況を多面的に捉え、生活全体を支える姿勢に重要性を感じています。

先輩方の深い知見を学び、地域住民の皆様を包括的に支えられるジェネラリストを目指すとともに、行政書士としての知識を活かした権利擁護や手続き支援を通じ、住民の皆様の利益に貢献し、福祉と法務の両面から先輩方のバックアップに努めます。



ひらい めぐみ
◆ 平井 恵 ◆

皆様はじめまして。9月より入職しました精神保健福祉士の平井恵です。原発事故の際に一度仙台へ避難し、地元へ戻って以降は約10年間、南相馬で復興支援事業を行うNGOに勤務してきました。被災地支援の現場では、震災を経験し、さまざまな心の傷や葛藤を抱えながら暮らす住民の方々と出会いました。その中で学んだのは、支援を届けるという行為以上に、同じ土地に住む者として「一緒に悩み、一緒に考える」存在であろうとする姿勢でした。

対象者の方にとって、話しやすく、安心して頼っていただけるワーカーを目指し、日々学びを重ねていきたいと思っております。

最後に私の心に刻んでいる聖書の言葉をシェアさせていただきます。「喜び人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」どうぞよろしくお願いいたします！



訪問看護チームより

一人暮らしのTさん、数年前の入院を機に訪問介護等の利用が始まりました。すると、お弁当や調理してもらうことが増えて段々と自炊の機会が0に。料理の楽しさや刺激を感じてみてはと思い、訪問活動に料理を組み入れる提案をするとOKが出ました。以前はよく作ったという炒り卵・ナポリタン・ポテトサラダを月1~2回作られています。包丁の扱いは上手く、調理工程も覚えていますが、

せっかちなのか火加減は強火傾向ですかね…!(;'▽')。私からは焦がさないようにとだけ声をかけています。

「レポートは増やさず手際よく作れるようになりたい」とのご希望があり訪問看護で支えることができればと考えています。(折笠)



アウトリーチチームより

先日、相馬市保健センターにて市町村別のカンファレンスを行いました。

当チームでは、各市町村の支援関係者の方と情報共有をしたり、アウトリーチの活動についてご意見をいただく機会を毎年設けております。今年度の活動及び実績の報告を行い、地域資源や利用者との関わりについてご助言をいただきました。

どの市町村においても支援者の皆様と直に顔を合わせられる貴重な機会であり、地域ごとに異なる課題や支援方法を学ぶ場にもなっています。(西内)

